

# 小松SSHだより

## 石川県立小松高等学校

第1号 R2年5月  
編集 :SSH推進委員会  
発行責任者 :中川 素子

### 「正答のない問題を主体的・協働的に解決することができる探究力を持った人材の育成」

本校理数科は、平成18年度に文部科学省からスーパーサイエンスハイスクール（SSH）に指定されました。SSH事業Ⅰ期、Ⅱ期の10年を修了し、平成28年度からⅢ期目の5年間は始まり、今年度は再申請に向けて準備中です。Ⅰ期、Ⅱ期の成果をふまえてⅢ期目では、理数科に加えて普通科の生徒もSSH事業の対象となり、それまで理数科のみで行っていた課題研究を普通科でも行うようになりました。課題研究や探究活動を通して「正答のない問題」に立ち向かうことができる人材の育成をめざしており、その取り組みは文部科学省からも高い評価を得ています。

### 令和2年度SSH事業予定 <新型コロナウイルスの影響で変更や中止の可能性あります>

#### 学校設定科目

#### ●総合科学（理数科1年生）

科学者の倫理観、健康と医療、生活の科学等の教科の枠を超えた探究学習を行うとともに、課題研究のための基礎知識・技術を習得します。



#### ●課題探究Ⅰ（理数科1年生）

「総合科学」と連動してテーマ設定を行い、テーマ発表会や指導教員による指導・助言を受けて、課題研究を開始します。



#### ●探究基礎（普通科1年生）

4月～9月はディベートを中心に論理的思考力を養い、証拠による論証の仕方学びます。10月以降はグループに分かれて基礎課題研究（文系）と化学実験講座（理系）を行い、探究活動に必要な知識・技能を習得します。



#### ●プレゼンテーション&ディスカッション（1年生全員）

口頭発表に必要な技術や、発表用ファイル作成のための技術を習得します。続いて、科学に関する英語の文献を読み、英語による発表を行い、質疑応答や討議をする能力を育成します。



#### ●課題探究Ⅱ（理数科2年生）

グループに分かれて課題解決のための調査・実験・考察などの探究活動を行います。その成果を、校内・校外・ポスターで発表（日本語、英語）します。必要に応じて大学教員の指導を受け、研究内容を深めます。



#### ●課題探究（普通科2年生）

「探究基礎」で育成された課題発見能力、探究スキルを用いて課題を設定し、課題研究を行います。また、クラス内発表会、校内発表会を行い、発表能力を育成します。



#### ●課題探究Ⅲ（理数科3年生）

科目融合、領域融合型の学習を通して授業で学んだ知識・技能を活用する能力を身につけます。現実の課題を解決するプロセスを経験することで、大学での学びにつなげていきます。



## ●科学探究（普通科3年生）

理系では、発展的な実験活動を通してデータ処理能力、問題解決能力を身につけます。科目の枠にとらわれず、各々の領域の知識を柔軟に関連づけ探究力の向上を目指します。文系では、科目融合、領域融合型の学習を通して発展的な探究活動を行います。



## 校外学習予定

### ●生物分野の野外実習（理数科1年生）

日時：調整中（1泊2日）  
場所：能登少年自然の家、のと海洋ふれあいセンター  
内容：ウニの発生実験、海辺の生物採集観察などを行います。



### ●地学分野の野外実習（理数科1年生、普通科1年生の希望者）

日時：8月20日(木)  
場所：金沢市銚子町付近（大桑層）  
内容：化石採集や地層観察などを行います。



### ●大学実験セミナー（理数科2年生）

日時：調整中（1泊2日）  
場所：石川県立大学  
内容：石川県立大学にて微生物実験セミナーを行います。  
韓国大田科学高校の生徒も来日し、一緒にセミナーに参加します。



### ●全国SSH生徒研究発表会（理数科3年生課題研究代表1グループ）

日時：8月4日(火)～6日(木)（2泊3日）  
場所：神戸国際展示場  
内容：全国のSSH校が一同に集まり研究発表会を行います。



### ●全国SSH生徒研究発表会見学ツアー（理数科1年生、2年生）

日時：8月5日(水)  
場所：神戸国際展示場  
内容：全国のSSH校のポスター発表を見学し、自分たちの課題研究の参考にします。学際的な雰囲気の中で全国の仲間たちとの交流体験をします。



### ●関東サイエンスツアー（理数科1年生）

日時：9月24日(木)～25日(金)（1泊2日）  
場所：東京大学（本郷キャンパス）、東京工業大学（すずかけ台キャンパス）など  
内容：最先端の科学研究に触れ、技術者や研究者と接することで見識を深めます。



### ●韓国大田科学高校との科学交流（理数科2年希望者）

日時：調整中（3泊4日）  
場所：韓国大田科学高校、韓国科学技術院、果川科学館など  
内容：本校の生徒が課題研究のポスター発表を英語で行います。  
韓国の最先端技術に触れます。

